

遠隔地で働く若手心理職のための コンサルテーション・グループ ～職場でよりよく機能するために～

現在の心理職の職域は多岐にわたっています。あらたな領域に参入する人もいれば、大きな組織の中の一人職場という人もいるでしょう。他職種連携は当然のこととなっていますが、組織の一員として確かな位置づけを確保することは簡単なことではありません。

そのような中で、私たちは日々、患者、クライアントや利用者に関わっています。当然経験の浅い時期は、その関わりが適切であるか自信もなく、組織の中での動きにも多くの苦労を伴うでしょう。地方の遠隔地で働き、自らの臨床的な動きを検討する機会がなかなか得られず奮闘している若手心理職の方もいるのではないのでしょうか。

そこで今回「コンサルテーション・グループ」として、いかにしたら職場でよりよく機能する心理職になることができるのかを、協働して検討していく企画を考えました。職場での困っている・検討したい状況を毎回ひとりに提示してもらい、グループで検討いたします。発表機会は年に2回あります。

心理職の自立性の一側面には、困難な中でもその文脈を理解し思考し続けることができるように思います。すぐには答えが見出せない世界で、何とか持ちこたえるためにグループの力を活用してみませんか。

対象：現場に出て5年以内の臨床家5名。臨床心理士・公認心理師・資格取得を目指している者。臨床実践の場所、内容は問いません。

*構造化した心理療法・カウンセリングの技能向上を目的としたGSVではありません。

費用：3000円（1回）。銀行振り込み（1年分・分納可）

日程：原則的に第4金曜日、20時～21時半。年10回。ZOOMを使用します。

*7月は第5週目（31日）、10月と12月はお休みです。

申し込み方法：counseling_office_sy@yahoo.co.jp までご連絡ください。

*「コンサルテーション・グループ希望」というタイトルで、①氏名（ふりがな）、②現在の職種・臨床歴（年数）、③メールアドレス（PC）、⑤電話番号（緊急時のみ使用）、⑥検討したいこと（100字程度）をお伝えください。

オーガナイザー：吉沢伸一

2004年青山学院大学大学院を卒業。臨床心理士。公認心理師。

子どもの精神分析的な心理療法士（認定NPO法人 子どもの心理療法支援会）。

現在、ファミリーメンタルクリニックまつたにて、主に力動的な観点から、こどもと思春期・青年期、成人の心理療法、思春期の集団精神療法を実践している。

これまで非常勤で、公立小・中学校のスクールカウンセラー、適応支援教室、不登校児への訪問相談員、総合病院の精神科思春期ケア、精神科病院、専門学校の学生相談、大学兼任講師・専門学校講師、開業心理相談室で勤務した経験がある。

- ・精神分析／精神科小児科 臨床セミナー講師
- ・こども・思春期精神分析セミナー グループ・スーパーヴィジョン スーパーヴァイザー
- ・サポチル関東ワークディスカッション・セミナーグループ グループリーダー（2020年～）
- ・東京都町田市教育センター スーパーヴァイザー

■共著

『精神分析／精神科・小児科臨床セミナー 総論：精神分析的アセスメントとプロセス』（木部則雄編著：福村出版）
『新訂増補 パーソナリティ障害の精神分析的アプローチ 病理の理解と分析的対応の実践』（松木邦裕・福井敏編著：金剛出版）
『スクールカウンセリングの「困った」を解決するヒント48』（菅野純監修、菅野恵・藤井靖編著：大修館書店）

■共訳書

『子どものこころの生きた理解に向けて一発達障害・被虐待児との心理療法の3つのレベル』（脇谷順子監訳：金剛出版）
『心的変化を求めて：ベティ・ジョセフ精神分析ワークショップの軌跡』（松木邦裕監訳：創元社）